



発鳥市議第136号  
令和2年6月25日

鳥取市長 深澤 義彦 様

鳥取市議会議長 山田 延孝



### 新型コロナウイルス感染症対策事業における議会費の活用に関する申入れ

本年は新型コロナウイルス感染症が世界各地で蔓延しており、我が国においても深刻な影響を及ぼしている。4月16日に全国に拡大されていた「緊急事態宣言」は、本県では5月14日に解除されたが、感染症はいまだ収束を見通せない状況が続いている。

本市においても、感染を危惧する不安や収入減少による生活不安、活動自粛による生活環境の変化、地域経済の低迷及び医療現場等における必要物資不足などへ積極的に対応しているところであるが、いまだ市民生活に大きな影響が生じており、引き続きの支援を早急に行う必要がある。

本市議会は、去る6月18日に開催した会派代表者会において、本年度に予定していた委員会視察等の中止を決め、このことにより当該事業の予算を、新型コロナウイルス感染症対策事業の財源の一部として有効活用するよう市に申し入れることを決定した。

ついては、これら議会費の財源を活用し、新型コロナウイルス感染症の影響で苦境に立つ鳥取市出身の県外学生や、多くの市民を支援する市の独自施策に充てられるよう申し入れる。